



一人権だより

vol.48



【人権に関する啓発冊子の紹介】

桂川町人権・同和問題協議会では、今年度の様々な人権に関する啓発活動を行ってきました。その一年間の取り組みを、啓発冊子「けいかん」にまとめました。

7月にフジテレビアナウンサーの笠井信輔さんを講師として招き『人として、報道人として』震災報道の裏側と人権』と題して開催した人権講演会をはじめ、桂川町役場前など町内5カ所で行った街頭啓発、そして10月にビデオ『家庭の中の人権 生まれ来る子へ』を視聴し、みなさんで人権について懇談していただいた人権・同和問題地域懇談会などについて紹介しています。

少しでも多くの方に読んでいただけるように、文字には送り仮名もつけています。各戸配布を予定していますので、ぜひ、ご一読いただきたいと思います。



【問合先】

桂川町人権センター（旧桂川町隣保館）内
隣保・人権同和教育係 ☎65・1187

けいせんびと

～話題の人・団体～

桂川最優秀拳士 吉田琉晟 平成二二

日々の鍛錬の中、 少林拳を通じて学ぶ「礼」

「日本嵩山少林拳連盟 少林拳 誠武会 桂川道場」は、桂川町で活動し続ける少林拳の団体。現在は小学校二年生から中学校一年生の子どもたちが鍛錬に励んでいる。

代表の手嶋和登美さんは、桂川で指導を始めて6年目。少林拳の技術向上だけに限らず「人生でくじけそくなる、粘ることができ、そういう精神を身に付けてほしい」という想いで指導にあたっている。

誠武会に所属する吉田琉晟くんは、桂川小学校に通う六年生。昨年11月に行われた少林拳選手権大会で、最優秀選手に選ばれた。小学生から社会人まで、参加した約300人の頂点に立つという偉業を成し遂げた吉田くんは「がんばったかいがあった」とはにかんだ笑顔で話す。



少林拳 誠武会 桂川道場
吉田 琉晟くん
Yoshida Ryusei (12歳・土師七)



【誠武会についての問合先】
☎65・0019

中学生になっても少林拳を続けていくという吉田くん。「目標にされるような指導者になって、将来は警察官になりたい」と話すその眼差しは、鋭くも、優しい。

体が弱く、強くなりたいという思いから少林拳を始めたという吉田くんだが、始めた頃は『とにかく引っこみ思案だった』と手嶋さんは振り返る。「しかし、少林拳を続けていくうちに、自信をつけていき、今では下級生を指導するまでに成長しました」と目を細める。

吉田くんは少林拳を通して学んだことについて聞くと、「少林拳は、あいさつや言葉づかいなど、日常生活でも活かせる『礼』をたくさん学べます」と話す。

